

平成 18 年度 生理学研究所研究会 病 態 糖 鎖 研 究 会

日 時：平成 18 年 9 月 25 日(月)午後 1 時 ～ 26 日(火)
場 所：自然科学研究機構 山手 3 号館 西棟 2 階 大会議室
提 案 代 表 者：辻 崇一 (東海大学・未来科学技術共同研究センター)
所内対応教官：池中一裕 (分子神経生理部門)

9 月 25 日(月)

- 13 : 00～13 : 10 開会の挨拶 辻 崇一
- 13 : 10～13 : 35 Sialidase NEU4 は大腸がんの悪性形質を制御する
塩崎 一弘 (宮城県立がんセンター)
- 13 : 35～14 : 00 担癌状態におけるムチンを介した免疫抑制機構の解析
中田 博 (京都産業大学)
- 14 : 00～14 : 25 エンドサイトーシス経路異常による GM1 ガングリオシド蓄積とアミロイド
 β タンパク質の重合促進
湯山 耕平 (国立長寿医療センター研究所)
- 14 : 25～14 : 50 免疫性ニューロパチーと抗ガングリオシド抗体：ガングリオシド複合体抗体
を中心に
楠 進 (近畿大学)
- 14 : 50～15 : 05 休憩
- 15 : 05～15 : 30 スフィンゴリピドーシスモデルマウスにおける領域特異的神経細胞死
松田 純子 (東海大学)
- 15 : 30～15 : 55 ガレクチンの分子間相互作用
宮西 伸光 (香川大学)
- 15 : 55～16 : 20 ヒアルロン酸細胞外マトリックスによる腫瘍内血管新生促進作用の解明
小山 洋 (信州大学)
- 16 : 20～16 : 35 休憩
- 16 : 35～17 : 00 ケラタン硫酸とグリオーシス
門松 健治 (名古屋大学)
- 17 : 00～17 : 25 コンドロイチン硫酸鎖の硫酸化による合成制御とヘルペスウイルス感染
北川 裕之 (神戸薬科大学)

- 17:25～17:40 HNK-1 糖鎖生合成酵素 GlcAT-S 遺伝子欠損マウスの作製とその生化学的解析
Generation and biochemical analyses of GlcAT-S gene-deficient mice
小林 恭子 (京都大学)
- 17:40～17:55 神経可塑性における HNK-1 糖鎖機能に関する研究
森田 一平 (京都大学)
- 18:30～20:30 懇親会

9月26日(火)

- 9:00～9:25 β 1,3-*N*-アセチルグルコサミン転移酵素 2 遺伝子ノックアウトマウスの解析
榎谷内 晶 (産業技術総合研究所)
- 9:25～9:50 TSR ドメイン上の O-Fuc 特異的グルコース転移酵素のクローニングと機能解析
佐藤 隆 (産業技術総合研究所)
- 9:50～10:15 O-マンノース型糖鎖の生合成と筋ジストロフィー症
萬谷 博 ((財) 東京都高齢者研究 福祉振興財団 東京都老人総合研究所)
- 10:15～10:30 休憩
- 10:30～10:55 無臭ベンゼンチオールを用いた糖鎖の合成 (副題) 癌転移に関与する *N*-アセチルグルコサミン転移酵素 V の阻害剤を指向した糖鎖合成
梶本 哲也 (京都薬科大学)
- 10:55～11:20 *N*-結合型糖鎖ビーズを用いた *A. oryzae* の解析
—糖タンパク質品質管理機構の理解から異種タンパク質高生産に向けて—
渡邊 泰祐 (理化学研究所)
- 11:20～11:45 MSⁿ スペクトルマッチングによる糖ペプチドの直接構造解析の試み
出口 喜三郎 (北海道大学)
- 11:45～12:10 ピリジルアミノ化法を使った糖鎖解析法の微量化
鳥居 知宏 (生理学研究所)
- 12:10～12:20 閉会の挨拶